

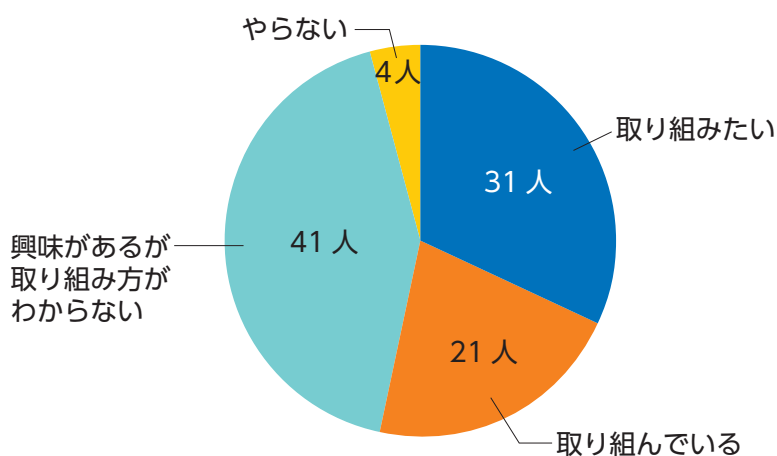
Q 「本日の講演を受けて何か『取り組みもう』と思いましたか？」

という設問について見てみると、講演を聞いて取り組みたいと思った方が3割、興味のある方が4割近くおり、全体では約9割の人が地域をよくするために取り組んでいる又は取り組み意思があると回答しました。

講演会に参加する前から、地域づくりに取り組んでいる方や関心を持っている方が多くいらしたようです。

また、講演会の感想を見ると、「町全体で取り組みをより住みやすい町になると分かった」「何かしたいと思うがわからない。講演を聞いて参考にしたいと思った」というような、地域、町のために取り組む意思がわいてきたという方もいらつしました。少しづつこのような思いの方が増え、実践に移せる人が増えるようにする必要があります。

Q. 講演を受けて、何かに「**取り組みもう**」と思いましたか？



※有効回答数 96人
(第3回～第5回に参加した町内在住者)

一人一人がつくるまちづくり

アンケートには、「拝聴しながらムズムズし、このままではだめだとつくづく感じました。早く動かなければと痛感しました。」という感想の方もいらつしました。

そして今回の講演会には、

すでに地域づくりに関して取り組んでいる方や関心のある方が多く参加くださいました。地域を良くするためには出来る範囲で大勢の人が協力することが大切です。このように少しでも関心のある方が増えていくことが、まちづくりの力になっていきます。

第4回講演会

「自治体改革とまちづくり」

講演者：..

北海道二セコ町長

片山 健也様

二セコ町での取り組みについてお話をしていただきました。

二セコ町では、すべての職員が能力採用で、職員研修も盛んななど職員の力を高めることに力を入れています。また、住民へは情報公開を徹底しており、「町民講座」という町民と政策について話す機会も設けられているなど、住民の参画にも積極的です。行政・住民が同等にぶつかり合って町を住みよくするために意見を出す、そして改善していく取り組みを実践しています。



第5回講演会

「ピンチはチャンス！山の小さな酒蔵から世界ブランドが生まれたワケ」

講演者：..

旭酒造 代表取締役会長 桜井 博志様

今では世界的に有名な日本酒「獺祭」ですが、この日本酒が軌道に乗るまでは様々な苦難がありました。しかし、どんな時も試行錯誤して、「時代、そしてお客様が求めるお酒」というものを研究し、自分の信じた道を曲げなかったからこそ、今の「獺祭」があるということでした。

技術も知識も無い素人だったからこそ失敗を繰り返しながら新しいことにチャレンジできたのだとおっしゃっていました。

